

京都造形芸術大学舞台芸術研究センターでは、韓国を拠点に世界的に活躍しているダンサー/コレオグラファーのキム・ソンヨン氏と、日本の同世代のダンサー/コレオグラファーである白井剛氏とのコラボレーションダンス作品を企画しました。この作品は、2015年9月、京都芸術劇場春秋座での初演後、東京・世田谷パブリックシアター、韓国ソウルでの上演も予定しています。

2013年度より京都・東京・インチョン(韓国)で二人のワークショップを重ねており、この作品創りの過程で、写真家・荒木経惟氏と出会いました。現在、強烈な色彩と圧倒的なインパクトを放つ、最近の荒木作品をテキストに、作品創りを継続しています。生と死をめぐる荒木作品とダンスがいかに対峙するかをテーマに、劇場をつかった稽古および実験をおこない、今回その一部を公開します。

# 荒木経惟

写真

入場料無料・申込不要(全席自由)

テーマ研究Ⅱ「コンテンポラリーダンスの創造性と方法論をめぐる実践的研究」

京都芸術劇場 春秋座

## 【日韓ダンス企画 劇場実験・稽古公開】

二〇一五年三月二十二日(日) 十五時開演 十四時三〇分開場

# 白井剛、キム・ソンヨン

振付・構成・出演



白井剛  
ダンサー/コレオグラファー

98年、カンパニー「Study of Live works 究糸ト(ばねと)」を設立し、「パニョレ国際振付賞」(2000)、トヨタコレオグラフィーアワード「次代を担う振付家賞」(06)を受賞。ダンサーとしてユリ・ン(香港)振付「悪魔の物語」、伊藤キム振付「禁色」に出演するほか、アルデッティ弦楽四重奏団とのコラボレーション作品「ジョン・ケージ「アパートメントハウス1776」」に出演。07年、ダムタイプの藤本隆行らとともに「true/本当のこと」を製作、世界11カ国20都市でツアーを行う。舞台芸術研究センター企画では、ダンス・プロジェクト「恋する唄」(06~08年)、「マラルメ・プロジェクトⅡ・Ⅲ」(11~12年)等に出演。さまざまなアーティストと積極的にコラボレートし、既存の舞台表現にとらわれない新しいパフォーマンスに取り組んでいる。



キム・ソンヨン  
ダンサー/コレオグラファー

97年、最年少で「東亜舞踊コンクール」金賞を受賞。2013年、「韓国舞踊芸術賞」コレオグラファー賞、「ダンス・ビジョン・コリア」最優秀コレオグラファー賞、第34回ソウル舞踊祭参加作「超人」で大賞をはじめ音楽賞・舞台美術賞など5部門を相次いで受賞。自身のカンパニーDance Company MooEとフランスのカンパニーと共同制作し、フランス国立レンス・ブルターニュ振付センター(muse de la danse)で発表するなど、国内外で活躍している。現在、漢陽大学、ソウル大学でダンスを教える他、米ベルヘブン大学客員特別講義教授。韓国の人気テレビ番組「ダンシング9」の審査員、韓国国立現代舞踊団の招待コレオグラファーとしても活躍している。